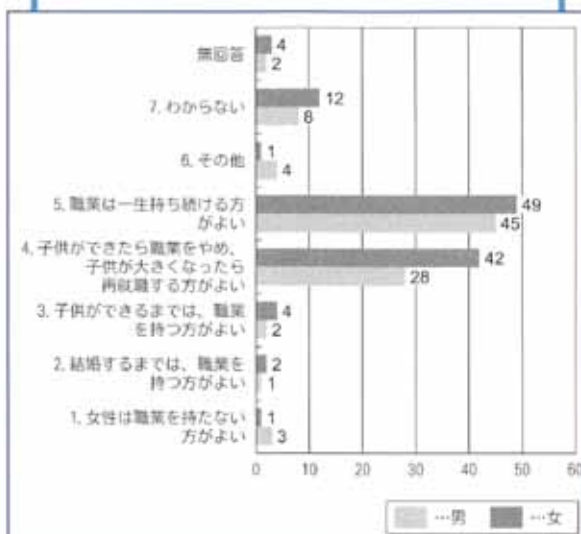


男女共同参画社会を考える

4

安心して子育てできる村づくり

あなたは、女性が職業を持つことについてどうお考えになりますか。



仕事を持つ女性の増加、核家族化、少子高齢化により子どもをめぐる環境は大きく変化しています。

アンケート調査の結果では、5割近くの女性が職業は一生持ち続けた方がよいと答え、「出産を契機に仕事をやめ、子どもが大きくなった後再就職する」という答えと合わせると、実に9割近くの女性が出産後も

仕事を持ちたいという意欲が見られました。

子どもを持ちたい人が安心して子どもを産み、健やかに育てることができるよう、また仕事を続けながら子育てができるよう、家庭での子育て支援とともに地域職場における子育て支援体制の整備を図っていくことが重要な課題です。

何に使うの? 教えて 村の予算 第4回 産業振興政策・特に農業振興について

3年ほど前、皆さんからいただいた「村への通信簿」で産業政策は2に近い「3」でした。

村ではこれまでも産業振興には力を入れてきたのですが、「村民の皆さんの生活は大変だ」という実態から「3の下」という評価だったようです。したがって、村としてはこれまで以上に産業振興に、その中でも農業振興を図っていかねばならないと考えているところです。

しかし、農業を取りまく環境は、年々厳しくなるばかりです。もっと消費者や外国に目を向けなければなりません。転作や後継者難の問題も深刻です。さらに、天候に左右されやすい農業は、村でも「難しい政策」だと思っています。ですが、「困った」とばかり言ってもいられませんので、ここ数年思い切った支援策などを予算化しているところです。

転作については、転作を進め、他の作目に切り替えつつも所得を上げてもらうため、村単の土地改良への支援や、リンドウの苗や支柱、推奨作目の助成などに150万円ほど予算化しています。

畜産については、「村の柱」ですから何とか振興を図らねばと受精卵移植事業などに約1,100万円、さらにBSE対策、顔の見える農業の展

開、地産地消の運動のほか農家への助成やPR活動に700万円ほど予算化しています。

タバコについては、年間4～5億を売り上げている村にとって大切な産業ですので、少しでも長く続けてもらうということで乾燥機、収穫機などに今年は430万円、これまでの5年間のトータルで1,450万円です。

これらに次ぐ村の推奨作目の花きと野菜については、75%の補助率でハウスへの助成がありますが、これが1,400万円ほど、その他花や野菜を振興するための予算が280万円ほどです。また、昨年からの中山間支援事業により、今年は6,500万円ほどが農家や地域に交付されることになっています。

事業を組めばよい、補助金を出せばよいというものではないのが農業であるので、振興は難しいものです。農家の方々が自分の生計の糧なのだという自覚と誇りをもって努力、工夫をしていただくことが大切です。村はそのような方にさらに応援をしていく形となります。

(次回は産業政策の商工振興についてです)